

2025年7月10日

教育学研究科の院生の皆様

教育実践コラボレーション・センター

北京師範大学との交流（英語による口頭発表）参加者募集のお願い

盛夏の候、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本年度は、北京師範大学との学術交流活動の一環として、下記の要領で北京師範大学における対面形式での交流会を予定しております。この交流会に参加される大学院生の募集を行いますので、参加を希望される方（院生）は、別紙1の「参加希望調書」に所定の情報をご記入の上、件名「交流参加希望」として南部広孝（nanbu.hirota.5m@kyoto-u.ac.jp）までメール添付でお送りください。〆切は7月28日（月）の午後5時（厳守）とします。

なお、参加の可否に関しては選考委員会が応募書類などをもとに決定します。

〔参加資格〕

1. 交流会の時点で本研究科に在籍する大学院学生とし、英語で口頭発表のできる者とします。
2. 応募者多数の場合には博士後期課程の院生が優先されます。
3. 参加にあたり、グローバル教育展開オフィスからの支援により一人15万円を上限として渡航費の支援があります。それ以外は参加者個人の負担となります。

〔口頭発表（英語）〕

4. 1人20分ほどの英語による口頭発表を、原則としてパワーポイント資料を用いながら、行っていただきます。ただし、質疑応答（10分程度）については通訳（日本語⇄中国語）を介して行うこともできる可能性があります（以前、北京師範大学で開催されたときには、質疑応答も英語のみで行われたことがありました）。
5. 発表全体に共通するテーマは「Balancing Equity and Quality in Education: Policies and Practices for Diverse Needs」です。発表の内容は、この共通テーマに沿った未発表のものとし、ただしテーマはあまり厳密に考えてもらう必要はなく、各自の研究内容と関連づけて広くとらえてもらってかまいません。このテーマに含まれるとみなされる内容であれば歓迎します。

〔報告書（英語原稿）〕

6. 発表内容は今年度中に発行される報告書に掲載される予定です。

〔注意事項〕

7. 参加決定後に題目（英文表記も含む）を変更する場合には、**必ず迅速に、南部広孝（nanbu.hirotaka.5m@kyoto-u.ac.jp）**まで申し出てください。ただし、事前の準備会（顔合わせ等）以降は、題目（英文表記も含む）を変更することができませんのでご注意ください。
8. 北京師範大学との交流は、院生主体で企画，準備，実施を行っている活動です。参加者には、個人の研究発表だけでなく、交流活動の円滑な実施にご協力いただきます。
9. 参加者の総数は6人を予定しています。
10. 本件について不明な点などありましたら以下にご連絡ください。
南部 広孝（なんぶ ひろたか、教授）
nanbu.hirotaka.5m@kyoto-u.ac.jp

《参考》

1. 交流日程

渡航期間：10月31日（金）～11月3日（月）

交流会（口頭発表ほか）：11月1日（土）～2日（日）

2. 今後のスケジュールについて（予定）

(1) 募集期間：～7月28日（月）

(2) 参加者の決定：8月上旬を予定

（※決定後、メールで個別に通知します）

(3) 事前準備会（顔合わせ等）：8月末を予定（対面またはオンラインにて開催）

(4) 交流会

(5) 報告書作成：11月～2月

別紙 1

参加希望調書

1	所属コース（または講座）	
2	学年	D1 ・ D2 ・ D3 以上 / M1 ・ M2 以上 (※該当するものに○)
3	氏名	
	(英語表記)	
4	連絡先	
	(※通常用いているメールアドレス)	
5	交流会の参加経験	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北京師範大学での交流会に参加したことがある ・ 京都大学での交流会に参加したことがある ・ 交流会に参加したことはない (※該当するものに○)
6	発表予定題目 (英語表記)	
	(日本語表記)	
7	発表内容概要 (日本語で 100 字程度)	

※この他に、業績リスト（書式自由）を添付してください。

（著書（単著・共著）／論文（査読あり・なし）／口頭発表（国内・国外）等の項目別に整理したリストを提出してください）

※なお、この用紙を印刷して提出する場合の窓口は、南部研究室（308 室）です。不在のときはドアの下から滑り込ませておいてください。提出締め切りはメールによる提出の場合と同じです。

※収集した個人情報厳重に管理し、選考のほか交流会に関連する業務にのみ利用します。他用は致しません。